

働く女性のための応援プログラム業務 実施報告書〈概要版〉

働く意思のある女性がそれぞれの働く目的、現状及び課題を明確にし、主体的にキャリア形成を考えるとともに、就労継続やキャリアアップに向けた意欲を高めるため、2つのセミナーを開催しました。



働く女性のためのトークカフェ

開催日時…令和2年11月8日(日) 10:00~13:00
会場…サンエールかごしま 5階 多目的フロア 参加人数…22名(定員21名)

ロールモデル



株式会社エスポワールすずらん
原崎 智美さん

アパレルショップの店員として活躍する傍ら、多数の資格をとり、販売員の枠を超えた仕事にもチャレンジ。家族と協力しながら仕事と家庭を両立している。



社会福祉法人博愛会 相良病院
上山 真智子さん

広報として、広告制作やイベント企画、新病院の建設など様々なプロジェクトに従事。コミュニケーションを大事にし、仕事とプライベートを両立している。



コーチ・カラーアナリスト
村田 史子さん

転勤族の妻たちのグループを立ち上げ、企画運営。コーチ・カラーアナリストとしても活動するほか、医療法人にも勤めるパラレルワーカー。



株式会社七呂建設
野久保 里奈さん

3人の子育てをしながら、住宅メーカーの広報として働く。女性目線の家づくりを企画・提案する女性開発チームのリーダーを務める。



株式会社ススキ自販鹿児島
荷福 智秋さん

就業者も利用者も男性が多い自動車業界にあって、女性目線での接客対応や店舗づくりを行う女性スタッフの会「おごじよ改」のリーダー。



株式会社FCR
森 佳奈絵さん

主な仕事は広告物のディレクション業務。週の3日程度は在宅で仕事をしている。鹿児島にはまだ少ない在宅ワーカーのモデルケース。



一般社団法人恵友苑
中村 綾美さん

不動産会社の代表取締役や講師業・飲食店経営等、豊富な経験を持つ。現在は障害者支援を行う一般社団法人の代表を務める。

トークカフェの流れ

- 事前に「仕事で抱える課題や悩み」をヒアリングし、配布
- 内容をグループ内で共有し、ロールモデルの進行でトークを始める
- ラウンドごとにメンバーを入れ替えながら悩みを共有しトークを深掘り
- トーク中の意見やアドバイス、感じたことなどを個人シートに書き込む



個人シートから見えてきた課題や悩み

仕事（職場）に関すること

- 育休から復帰後、以前のポストに戻れるか不安
- 職場での人間関係がうまくいかない
- どのような基準で仕事を選べば良いか
- 転職や起業を考えているが、年齢面や家庭への影響が不安

家庭（子育て）に関すること

- 転勤族のため、その度にゼロからの開拓になる
- 家族の協力が得られない
- 仕事に対するやりがいはあるが、子育てとの両立や体力面が心配

自分自身に関すること

- 時間に追われて気持ちが不安定
- コミュニケーション能力を高めたい
- どうしたらスキルアップできるか？
- 仕事と健康（体力面・精神面）とのバランス



ロールモデル・女性活躍アドバイザーから参加者へのメッセージ

- この時間に感謝。家族にも感謝。皆さんから元気ももらって明日への活力になった。
- 輝いている女性が鹿児島にたくさんいることが嬉しい。自分も視野が広がり、頑張る意欲が湧いた。
- 女性という立場でさまざまな悩みや課題を持っているが、その先に自分が輝く姿を想像してほしい。
- 悩みを持つ人の話をたくさん聞いてほしい。「明るく、元気に、人のために」を自分のモットーにして頑張っていこう。
- 女性は年齢や立場、環境で悩み、簡単に解決できない課題を抱えている。でも女性は強いんです！

参加者の声 (一部抜粋)

- 「こうしなければならない」という考え方から少し解放されました。もっと自由な働き方を考えたい。
- 不安はあるが、それを糧に輝いている先輩を見て、前向きに明るく生活することが大事だと思った。
- 「たくさん悩んでよい、悩んだ先に気づきや成長がある。」と声をかけて頂き元気が出ました。
- 悩みは一生あるものだと再認識しました。それが深くなる前に少しずつ取っていかれたらと思う。
- 最後の「頑張るぞ！」にとっても元気をもらいました。「明るく元気に人のため」という言葉がとて心に残りました。自分をしっかりと持って前向きに楽しんで進んでいきたいです。
- コロナ禍で「人と会って話すこと」の大切さを痛感。人とつながりが大切だと前向きな気持ちになった。



女性のためのキャリアアップ支援セミナー

開催日時…令和2年11月14日（土）13：30～16：30

会場…サンエールかごしま 5階 特別会議室 参加人数…17名（定員20名）

第1部 セミナー

【講師】株式会社新日本科学 上席執行役員 長利京美さん

【演題】「女性が輝く企業とは？」～私たちができること～



●女性が輝く企業とは？（輝く＝生き生きとして明るさがあふれていること）

⇒女性が個性と能力を十分に発揮できる企業

- ・ライフステージに合わせた柔軟な働き方に対応できる会社
- ・具体的な指標（役員・管理職の女性比率、産休・育休後の復職率、女性採用比率など）

●女性活躍に関する新日本科学の取組み

【背景】

2007年当時、女性の退職理由の38.5%が、「婚姻・出産」。

→スキルや技術を蓄積した女性（＝貴重な戦力）の退職は、企業リスクと認識し、女性が働きやすく、活躍できる職場を構築することを経営戦略として設定。

【取組事例】

働くなでしこ委員会を発足（社長発案）※委員会のメンバーは女性社員12名

→アンケート調査で社員の生の声（要望等）を拾い、改善点を徹底的に議論した。

社員の声としてまとめたものを経営層に提案し、

- ・早期職場復帰者へ保育料補助制度
- ・時間単位有給休暇制度
- ・ランチオンセッション定期開催
- ・テレワーク制度化
- ・上司と部下の個人面談制度化

などを実現。女性管理職比率向上や男性の育児休暇取得促進にも取り組み、成果を上げている。

【成功の要因】

- ①女性社員自らが働きやすい環境、制度を作ったこと
- ②上司と部下の面談を増やしたこと（週3回の1on1面談を推奨）
- ③「制度」を活用しやすい「風土」を作ったこと

そして、何よりも大事なことは、

トップがメッセージを発信し続けることが大きな追い風になる

新日本科学 経営者の言葉（覚悟）

女性の活躍を拒むあらゆるものを会社から取り除き、女性社員の声を聞き、改善するのが私の仕事だ。



第2部 ワールドカフェ

参加者同士でキャリア形成についての課題や悩みを共有し、働くモチベーションを高め、自分らしいリーダーシップを探るためのグループワーク。途中でグループをシャッフルすることで、対話を深め、今後につながる交流を図る。

○第1ラウンドテーマ：「セミナーに参加した動機とキャリアについての課題や悩み」

○第2・第3ラウンドテーマ：「同僚、部下のマネジメント」



参加者の声（一部抜粋）

- 自分にはハードルの高いセミナーだと思い参加するか迷ったが、勇気を出して参加して良かった。
- 無意識の偏見が自分の周りにも多いことを再認識した。今後もいろいろな業種の人と交流したい。
- 自分は独身で子どももないが、どのように働くべきか悩んでいる。今日多くのヒントをもらった。完璧でなく、頼るところは頼って、勇気をもって第一歩を踏み出したい。
- 多くの女性が育児や介護で悩んでいるが、女性の意見が取り入れられない鹿児島の課題を感じた。仕事柄、鹿児島の中小企業の経営者と話す機会が多いので、社員教育の大切さなどをメッセージとして伝えていきたい。
- セミナーの気づきが大きく、たくさん笑うことができました。仕事と子育ての両立、主人や子どもとの役割分担により、家庭から社会、そして鹿児島が明るくなればと思った。